

■（６５）新聞に入試の設問と解答が載りますが…

いよいよ大学入試センター試験が始まる。被災地では仮設住宅で勉強を続けてきた受験生も少なくない。津波被害で昨年までの会場が変わった所もある。鉄道が復旧していないため遠くの会場に行けないだろうとして、被災地に新会場を設けた例もある。

約３０年前、前身の「共通一次試験」を受けた。２日目の朝、朝刊に載っていた受験特集「設問と解答」を読み、前日の科目の自己採点をしてしまった。ことごとく誤り…。国語は半分もとれていなかった。なんとか挽回しなければとあせりながら、２日目に臨んだことを思い出す。各新聞は入試センターからデータをもらい速報している。受験生が知りたいのは自らの得点と平均点。つまり難しかったのかどうかで、しばらくして発表されるセンターの正式集計は待ってられない。高校２年生にとっては、試験の傾向を知り、１年後に早く備えたい。これらに応えるため、依頼した予備校の講師らの分析を掲載する。

本来なら「受験対策で、新聞を読もう」と助言したいところだが、センター試験の受験生にはやめておこう。「答え合わせは２日間終わってからでもいいよ」（山）